

例題1

- (1) 1から100までの整数のうち, 7の倍数は何個ありますか。
 (2) 98の約数は何個ありますか。

- (1) 7を1倍, 2倍, 3倍・・・とした数が7の倍数ですから,
7のかたまりが何個あるか調べます。

1~100までの7の倍数の個数は,

$$\underline{100 \div 7 = 14 \text{ あまり } 2} \quad \text{より } \underline{14 \text{ 個}}$$

14個

- (2) 例えば, 6を考えてみると, かけて6になる数は 1×6 2×3 です。
 この $1, 6, 2, 3$ を6の約数といいます。
 すなわち, 6の約数とは 「6を割ったときあまりがでない数」
 (6を割り切ってしまう数) です。

かけて98になる数は

$$\underline{1 \times 98 \quad 2 \times 49 \quad 7 \times 14} \quad \text{ですから,}$$

98の約数は, 小さい順に

$$\underline{1, 2, 7, 14, 49, 98} \text{ の } 6 \text{ 個です。}$$

6個

$\square = \bigcirc \times \triangle$ と表せるとき, \bigcirc と \triangle は \square の約数です。

ただし, $\square, \triangle, \bigcirc$ は0でない整数です。